

子どものための京都式少人数教育推進費

「まなび教育推進プラン」の重点施策の具体化のため、小・中学校で30人程度の学級編制が可能となるよう少人数教育を充実

義務教育9年間を見通して、学年の特性や児童生徒の発達段階に即して指導方法・指導体制を工夫

京の子ども・少人数教育推進費

次の3つから市町村が選択

少人数授業

子どもの興味・関心や習熟の程度などによって、特定の教科で学級の枠を超えた20人程度のグループで指導

チームティーチング

1クラスを2人の教員が協力して指導

少人数学級

40人未満の人数で学級を編制

小学校

1年

2年

小学校低学年指導充実費
(継続)

予算額 650,889千円
(22 764,993千円)

○授業等に集中できなかったり、教員との関わりを強く求める小学1、2年生で2人の教員による指導を実施

小学校

3年

4年

5年

6年

京の子ども・少人数教育推進費 (拡充)

予算額 7,418,643千円
(22 7,248,480千円)

○30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を充実



中学校

1年

2年

3年

【再掲】
中学校少人数教育推進費
(新規)

予算額 195,000千円

○35人を超える学級規模の解消
又は
○英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実が可能